

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

下記の学科・専攻において、平成25年度から収容定員を変更する。

【現行】		入学定員	収容定員	➔	【平成25年度から】		入学定員	収容定員
学科	専攻				学科	専攻		
家政科	家政専攻	180	360		家政科	家政専攻	150	300
国文科		150	300		国文科		100	200
英文科		150	300		英文科		100	200

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

少子化が進み、不況が深刻化するという社会情勢のなかで、入学者の確保が難しく、定員割れや閉鎖に追い込まれる大学・短期大学が少なくないが、本学は、これまで、入学定員を割ることなく健闘してきたと自負している。しかし、近年では、18歳人口の激減、都市へと受験生が集まりにくい経済及び社会状況、不況に伴う就職率の低迷などから、本学においても、資料のとおり、入学者数が減少する傾向が表れ始め、平成23年度には、新設された生活総合ビジネス専攻以外の全学科・専攻で定員割れが生じるという事態に陥った。

また、このような状況の中、教育上の弊害も日常化している。

1つは、学生の学力低下の問題である。入学者の確保を優先してきた結果、推薦入試や学力入試における合格点の低下が顕著となり、入学後、学生が授業内容を十分に理解できないという状況が広く見られるようになった。もちろん、入学予定者への課題、入学後の補習科目の履修といったリメディアル教育を導入したり、各教員がFD評価を活用して授業に工夫をこらしたりするなどの努力は続けているが、一方で、第三者認証評価を待つまでもなく、高等教育機関としてのレベルの維持は不可欠である。

もう1つは、退学者の問題である。家庭の経済状態、学力不足とともに、コミュニケーションをうまくとることができないということも要因として増加している。本学においては、退学者の分母となる在学者数が800名前後と大きいため、退学者の実数は多いとはいえ、退学率にすれば5～6%程度にとどまっている。これは、本学がクラス担任制やオフィスアワーの設置、転学科・転専攻を認める制度の導入、心理カウンセラーとの密接な連携など努力を重ね、教職員が鋭意奮闘している表れの一部といえる。とはいえ、「心の病」が蔓延しつつあるという大きな社会状況の中では、教職員の努力の限界もまた明らかであり、きめ細やかなケアをするためには、学生数の削減が必要であると思われる。

以上のことから、本学では、短期大学としての教育の質を保持し、かつ優れた人材を育成し世に輩出してきた本学の伝統を守るためにも、このたび、入学定員を削減することとした。そして、そのためには、学則変更（収容定員減）が必要である。

このことにより、少人数教育が可能となり、今にも増して手厚い教育支援・学生支援を行うことで退学者数が減少し、学力向上のモチベーションが確保されるとともに、就職率が向上することを期待している。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

① 教育課程の変更内容

教育課程の整備として、全学的な共通理念のもとに教養教育、外国語教育、初年次教育等の充実を図るため、「全学共通科目」を平成22年度から開設し、また、キャリア教育・職業教育の必要性に基づき、正課外ではあるが職業教育の一環としてキャリア教育講座「大妻マネジメントアカデミー」を平成23年度から開設している。学則変更（収容定員変更）を機に教育課程を変更するといったことは行わないが、今後も、「教育課程編成・実施の方針」に従って整備を行うことにしている。

② 教育方法及び履修指導方法の変更内容

〈教育方法〉

演習科目や体験型授業を積極的に取り入れ、学生が主体的・能動的に学習することができるように図っている。

また、平成22年度から、新入生対象の必修科目として「大妻教養講座」を開講し、建学の精神、大学生生活の過ごし方等を解説し、学習の動機付けを行っている。

〈履修指導方法〉

ガイダンス、オフィスアワー、クラス担任・副担任制を活用してきめ細やかな履修指導・学習指導を行っている。

今回、学則変更（収容定員変更）を機に教育方法、履修指導方法を変更するといったことは行わないが、以上の取り組みを継続して行うことにしている。

また、収容定員減ではあるが学級数の変更は行わない。このことにより、きめ細やかな少人数教育を行うことができると考えている。

③ 教員組織の変更内容

収容定員が減少するとはいえ教員数の大幅な削減は行わず、定年退職者の補充を行わないことによる自然減にとどめる。その場合であっても、当然、短期大学設置基準に定める「学科の種類及び規模に応じ定める専任教員数」、「短期大学全体の入学定員に応じ定める専任教員数」は堅持していく。そのうえで、各教員の意識を高めるのはもちろんのこと、ティーチング・アシスタント等を積極的に活用するなどして、変更前と同等以上の教育の質を担保するよう努めることにしている。

資料 本学における直近5年間の入学定員充足率

学科・専攻			入学年度				
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
家政科	家政専攻	入学定員充足率	1.22	1.27	1.07	0.85	0.88
		入学者数	244	254	215	154	160
		入学定員	200	200	200	180	180
	生活総合ビジネス専攻	入学定員充足率				1.02	1.27
		入学者数				72	89
		入学定員				70	70
	食物栄養専攻	入学定員充足率	0.93	1	0.98	0.98	1.06
		入学者数	186	200	196	147	160
		入学定員	200	200	200	150	150
国文科	入学定員充足率	1.28	1.22	1.07	0.74	0.44	
	入学者数	192	183	161	111	66	
	入学定員	150	150	150	150	150	
英文科	入学定員充足率	1.22	1.23	1.17	0.74	0.72	
	入学者数	183	185	176	111	108	
	入学定員	150	150	150	150	150	

※ 生活総合ビジネス専攻は平成23年度開設、家政専攻、食物栄養専攻は平成23年度から収容定員減